

重症心身障害児(者)病棟の療育や行事について



独立行政法人国立病院機構 富山病院 療育指導室 ¹

富山病院では、主に重症心身障害の方々の入院(入所)と在宅支援(通所、短期入所)を行っている



医療法に基づく「**病院**」であり、
児童福祉法や障がい者総合支援法に基づき「福祉**施設**」でもある。
つまり、2つの機能を持った病院である。

当院の重症心身障害児(者)の 療育活動の主な目的

1. 単調な入院生活をより**豊かな楽しい生活**にする(好きなこと・楽しい時間がある毎日)
2. 制約のある入院生活を、より**普通の生活**にする
3. **家族や社会との繋がり**を深める

※当院では、この3つを軸にして活動を実施

活動の種類

レクリエーション

戸外活動

感覚刺激

音楽活動

感覚運動

行事

視聴覚活動

創作活動

豊かな楽しい生活にする活動

1. 設定療育（病棟内プレールームでの活動）

ボーリング、ブランコ、足湯、ハンドマッサージ、
映画観賞会、カラオケ等

2. 合同療育（療育訓練棟内での活動）

買物、スヌーズレン、パラシュート、
エアートランポリン、DVD・インターネット鑑賞等

3. 個別療育

院内売店での買い物、ベッドサイド療育等

インリアルアプローチのSOUL①

1. 障害の重い患者様の行動は、小さく、必ずしも安定していないため、慣れていない人は、何を意味する行動なのか、そもそもどう接していけばよいのか迷うことがある。その時に参考にしたい考え方が、インリアルアプローチのSOUL

インリアルアプローチのSOUL②

1. Silennce: 静かに見守る
2. Observation: よく観察する
3. Understanding: 深く理解する
4. Listening: 耳を傾ける

インリアルアプローチのSOUL③

- ・職員が患者様に働きかける → 患者様が反応する
(関係を保つためには職員からの働きかけは必須だが、働きかけが過剰だと、受け身の反応だけになり、職員も患者様の小さな反応を見逃してしまう)
- ・職員が静かに見守り続ける → 患者様が反応する
(患者様からの、積極的に相手に働きかける反応を待つ)

インリアルアプローチのSOUL④

1) 患者様への挨拶の場面

(小さな発声、首を振る、手や指を動かす、まばたき、視線 等)

2) サイコロやボール転がしの場面

(関節可動域や麻痺が比較的少ない部位の把握、自助具を上手に利用する等)

*** 患者様からの反応を、上手に引き出すこと**

スヌーズレン

心地よい感覚刺激(光、音楽、触覚、香り)を提供し、それらを
楽しみながらリラックスしてもらう活動。



オランダが発祥地。

スヌッフレン
(匂いをかぐ・探索する)
ドウズレン
(うとうとする)
この2つの造語。

1999年に日本スヌ
ーズレン協会が設立。

ライトニングプラネット
バブルユニット
ファイバーグロー等

普通の生活(ノーマライゼーション)にする活動

1. 四季の変化を楽しむ活動(療育・行事)

春：花見 夏：プール活動

秋：紅葉、ハロウィン

冬：雪、クリスマス

2. 人生の節目を祝う活動(行事)

誕生会 成長を祝う会(七五三)

(学校教育：入学式・卒業式)

成人式 還暦の祝い等

社会や家族との繋がりを深める活動

1. **バス遠足(社会参加)** 2年に1回
バス遠足(リフト付タクシー)
院内遠足
2. **イベント** 2年に1回
バス遠足等に出かけられない方
を対象に、コンサート等企画

患者さんのことを知るために！

患者一人ひとりへのケアの方法を知る

日々の変化、
症状の変化に
気づき対応する

よりよいケアやかかわり方を模索する
(自分で考え行動する)

★療育の中で様々な姿を見たり、関わったり
することで、新しい『気づき』がきっとある。